



人権=心のマーク

人権啓発紙

輝きびと

R5.12.1

No. 120

発行者 ● 大津市政策調整部
人権・男女共同参画課
TEL 528-2791・FAX 527-6288

特集：ひとりひとりが尊重される社会をめざして



バトンをまつ これほどドキドキするとは

みんなが先に入っていて

ぼくは外側でバトンをまつ

タタタタと聞こえると

足はガクガク むねはドクドク

だけど もらわないと

友だちが本気で走って ぼくにわたす

みんなでつないだバトンは

ぼくといっしょにゴールする

南郷小学校 5年(当時)

吉田 颯優さん

第46回(令和4年度)

「わたしと人権」詩の部 特選作品



富士見小学校 1年(当時)
小茂田 紬さん 「ともだちいっぱい」
第46回(令和4年度)
「わたしと人権」ポスターの部 特選作品



志賀小学校 3年(当時)
山口 彩葉さん
「みんなで遊んでいる木」
第46回(令和4年度)
「わたしと人権」ポスターの部 特選作品

★うれしいな そのあいさつで パワーアップ

堅田小学校 4年(当時) 物部 颯斗さん

★その笑顔 私が受けとる 宝物

伊香立小学校 6年(当時) 小西 芽咲さん

★彩ろう 自分の個性 自分色

真野中学校 1年(当時) 宮崎 日和さん

★かけ合おう 五文字のしあわせ 「ありがとう」

伊香立中学校 3年(当時) 瀧本 茉莉さん

★いつだって 自分の色は 宝物

田上中学校 3年(当時) 中下 心花さん

第46回(令和4年度)「わたしと人権」標語の部 特選作品

ひとりひとりが

尊重される社会をめざして



皆さんは「LGBTQ」や「性的マイノリティ」という言葉を見聞きされたことはありませんでしょうか。

テレビや新聞、インターネットなどにおいて、「ジェンダー問題」、「多様な性」などといった言葉がクローズアップされることも多くなってきた中で、ジェンダーやLGBTQが何のことか分からない方もいらっしゃると思います。

また、今年6月には、性的指向やジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解増進を図るため、通称LGBT理解増進法が施行されました。性的マイノリティに関する人権課題をはじめ、様々な人権課題について私たちが知ること、関心を持つことは、人権が尊重される社会に向けた第一歩ではないかと思えます。皆さんが本紙をご覧いただくことで、人権に対する理解をより一層深める機会になりましたら幸いです。

「あなたの色はどんな色？」

これを読んでいらっしやるあなた自身の性別はなんでしょうか、女性？男性？性別なんて関係ない？性別には男性／女性以外にも様々があります。また、異性に恋愛感情を抱く人もいれば、同性に抱く人、性別にはとられない人、そもそも恋愛感情を抱かない人もいます。

自分の性別が、ある性別と同一であるという感覚、ある性別への帰属感を性自認（Gender identity）ジェンダーアイデンティティ）といい、どのような性別の人に好意や性的な魅力を感じる

かを性的指向（Sexual Orientation）セクシュアルオリエンテーション）といいます。それぞれの頭文字をとって、SOGI（ソジ又はソギ）といいます。

性自認は人それぞれで、戸籍上の性別は男性となっているが自分のことを女性だと思う人や自分のことを男性でもあり女性でもある中性だと思ふ人もいれば、女性ではない何かと思う人や自分には性別がないと感じている人もいます。生まれた時に決められた性別と自分が思っている性別が一致している人もいれば、一致していない人もいます。

性的指向も同じで、男性として女性を好きな人もいれば、男性として男性を好きな人、自分の性別は分からないけど中性的な人が好きな人もいます。一人一人の顔が違うように、自分自身の性別をどう思っているのか、どのような性別の人を好きになるのか、そもそも人に対して恋愛感情が湧かない、恋愛の心はあっても性的な関係は求めていないなど、人それぞれ違います。なにが正しくて、なにが間違っているのかではなく、それぞれの個性であり、多様な性のあり方です。すなわち、性自認、性的指向はすべての人に関連しています。こういった話をすると小児性愛はどうなるのか、というお話をいただくこともあります。性的指向は、「性別」を軸にした考え方であり、「年齢」を軸にはしていません。子どもの人権が守られるべきであることは明らかです。



「LGBTQへの障壁」

エルジービーティーキュー

①子どもたちのつらさ

しかし、現在の社会にはLGBTQの当事者にとって様々な障壁があります。認定NPO法人ReBiteによるLGBTQ子ども・若者調査2022によると、10代のLGBTQの若者の自殺念慮は、日本財団による第4回自殺意識全国調査における10代の結果と比較して3.8倍高く、この一年の間に自殺を考えたことがある人は48.1%を占めています。10代の若者は、身近に性自認や性的指向について安心して話せる場所がほとんどありません。孤独感を抱き、自分の将来像を描きにくい状況です。そのような中、親御さんたちも悩みます。LGBTQかもしれない若者の集まりもあり、そのような場所で自分のしんどさの乗り切り方や大人になった時の自己像が見えてくることもあります。

②職場での言動

LGBTQの大人も同様に生きづらい状態です。2020年に行われた認定NPO法人虹色ダイバーシティと国際基督教大学ジェンダー研究センターの共同調査によると、職場で差別的言動が多いかどうか尋ねた項目では、自身の性別に違和感のない異性愛者の中で差別的言動が多い又はやや多いと回答した人は全体の31.7%を、自身の性別に違和感のない同性愛者と両性愛者では全体の51.8%を、自身の性別に違和感がある人では全体の51.6%を占めました。なぜ数字に開きがあるのでしょうか。それを考えることで、すべての人が生きやすい社会へつながって行くように思います。

③最後の時間を過ごせない

他にも障壁があります。20年、30年連れ添った同性パートナーであっても医療機関などで家族や異性間パートナーのように対応してもらえないか分かりません。どのように対応するかは個々の医療機関

に委ねられており、最後の時間を一緒に過ごすことができなかつたという話も聞きます。本当に悲しいことです。

すべての人がありのままの自分を生きることができるとは、誰も取り残さない社会、人が人とながっていける社会をつくることは、LGBTQの当事者だけでできるわけではありません。様々な人たちの理解と協力が必要です。そして、LGBTQだけでなく、一人一人の個性を尊重する社会、一人一人の違いを認め合える社会はどんな素敵な社会だろうかと思えます。皆様と一緒にそんな社会をつくっていただけると幸いです。

注釈

LGBTQとは……

性的少数者を頭文字で表し、それらを総称する言葉です。Lはレズビアン（女性の同性愛者）、Gはゲイ（男性の同性愛者）、Bはバイセクシュアル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（性別越境者）、Qはクエスチョニング（自身が自認する性や性的指向が分からない）などの頭文字です。

プロフィール



桂木 祥子
かつらぎ さちこ

2003年LGBTQの自助・支援センターQWRC（クワーク）を大阪にて数人で立ち上げ、活動を続けている。LGBTQの相談を受けながら、行政機関や福祉、医療関係でセクシュアリティに関する研修を行っている。同時に10年の精神科勤務を経て、QWRC内で福祉事業所を設立。草の根で活動する女性リーダーJAJA2022ファイナリスト。精神保健福祉士、公認心理師。



今年の夏は異常な暑さでした
が、皆さんはどのように過ごされ
ましたか。コロナ禍も4年目とな
り、私たちのウィズコロナ生活も
落ち着いてきたように感じていま
したが、しぶとく続く感染症はや
はり侮れません。地球の温暖化も

ストップしそうになく、ここ数年で私たちの生活は大きく
変わりました。これからも今までに経験したことのない
変化と向き合わねばならないのでしょうか。

マスク生活が日常的になっていた中、元に戻りつつあ
るとしても、なかなか外せない方もおられるでしょう。
私の場合、遠く離れて暮らす幼い孫たちは、大人の口元
を見る機会を失ってちゃんと言葉を覚えるだろうかと案
じ、生きていくために毎日働く家族の健康や、施設に入
所している認知症の親のことを思い、身近な者の心配だ
けで胸がいっぱいになります。

近年の変化の中でも、とりわけコミュニケーションの
あり方の変わりようは大きく、日々の生活においてスマ
ートフォンが欠かせなくなりつつあります。社会が便利
になる反面、人と人との関係や地域のつながりが薄く
なってきたと感じており、今後さらに人同士のコミュ
ニケーションが少なくなっていくことを懸念してい
ます。

私は、深呼吸をして美しい琵琶湖や比良の山々を目に
すると、心が少し元気になります。誰かに会えば挨拶を
し、知らない人には笑顔で会釈だけでも。その時にたわ
いもない会話ができれば上々です。地域の活動や行事に
参加すると、思いがけない新しい出会いや発見がありま
す。ニュースでは、様々な醜い争いや分断、差別、虐待
など人間の尊厳を損なう事例が溢れて、気分が落ち込む
こともあります。焦らず、諦めず、自分にできること
を探して実行したいと思います。様々な立場の人々がそ
れぞれ自分らしく、自分のできることを存分に発揮でき
るような、とりわけ若い世代が少しでも希望を持てるよ
うな社会を夢見て。

ご意見やご感想は
〒520-0047 (天津市浜大津四丁目1-1) 明日都浜大津1階
大津市 政策調整部 人権・男女共同参画課
(☎) 528-2791 (まで)

あしがき 昭和23年(1948年)12月10日、国連第
3回総会において、すべての人民とすべての国とが達成すべき
共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。国連
は、宣言が採択されたのを記念し、12月10日を「人権デー
(Human Rights Day)」と定めており、日本では毎年12月4日から10日までの1週間を人権週間としていま
す。
今号では、LGBTQ(性的少数者を総称する言葉として一
般的に使われているものです。)について、NPO法人
QWRRC(クオアーク)の桂木祥子さんに「ひとりひとりが尊重
される社会をめざして」というテーマで寄稿いただきました。
皆さんに多様な性のあり方や性的マイノリティを取り巻く人権
課題について少しでも知っていただける機会になりましたら幸
いです。

第47回

「わたしと人権」作品を募集しています

人権を守る大津市民の会では「人権の尊重された明
るい社会」をめざし、作文、詩、標語、ポスター等の募集
を行っています。女性、子ども、高齢者、障害者、同和問
題、外国人などの人権にかかわる問題をぜひ作品にし
てご応募ください。

1 応募要領

(1) 応募締切

令和5年12月11日(月)

(2) 応募資格

大津市に在住・在学・在勤の方
市内の保・幼・こ・小・中・高校生の個人の作品につ
いては、学校園を通してご応募ください。ただし、高校
生は直接応募していただいても構いません。

(3) 募集作品 (未発表の作品に限ります。)

部 門	応募にあたって注意すること等
作 文	原稿用紙に記入(1,200字以内)
詩	内容は、「感想文」・「主張」・「体験記」・「意見」など
標 語	ハガキまたは、ハガキ大の用紙でご応募ください。 (ハガキ1枚で複数応募可能)
ポスター	画用紙(4つ切)。作品には、 人権の尊重された明る い社会にふさわしい文字 を必ず添えてください。
その他	パネル1枚(横120cm×縦180cm)以内でパネルに 掲示可能な作品 人権尊重をアピールするにふさわしい作品(集団作 品など上記四部門以外)

「住所・氏名・タイトル・年令・電話番号」を明記してください。

2 審査・発表

- * 作品審査は令和5年12月下旬の予定。審査結果は
公表し、入賞者には直接通知します。
- * 特別賞・特選受賞者には賞状と記念品を、佳作受賞
者には賞状を贈呈します。
- * 特別賞受賞者には、「ほのぼの賞」・「すこやか賞」・「ふ
れあい賞」・「ときめき賞」・「さわやか賞」の各賞を授与
し、表彰式で賞します。
- * 入賞作品は、冊子「わたしと人権」や大津市のホーム
ページ等で公表するとともに、様々な団体や機関の
人権啓発活動の資料として活用します。公表する際
には、作品、学校園名、学年、氏名(一般の方はお住ま
いの地域)が公表されますので、ご了承の上で応募し
てください。尚、作品の著作権は大津市及び人権を守
る大津市民の会に属しますのでご了承下さい。
- * 応募作品につきましては、原則返却いたしません。

3 送り先・問合せ先

☎520-8575 大津市御陵町3番1号
大津市教育委員会事務局 生涯学習課内
「人権を守る大津市民の会」事務局
☎(直通)528-2635



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025

